

各ホールで想定する演目と対応可能性について

施設名称	労働会館	スポーツ・文化総合センター	川崎能楽堂	産業振興会館
設置年	1981年	2016年	1986年	1988年
舞台形式	プロセニアム	プロセニアム	能楽堂	平土間（舞台部昇降方式）
客席形式	固定（ワンスロープ）	固定（複層）	固定（ワンスロープ）	可動
客席数	762	2013	148	478
親子室	無	有（12席）	無	無
身障者用	設置可（可動席部分）	18	設置可	設置可
特徴のある設備等	<ul style="list-style-type: none"> 廻り舞台あり 舞台形状が変形（台形） 反射板あり 舞台袖が比較的狭い 	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラピットあり 客席数が多くプロ公演が可能 反射板あり 舞台袖（下手）が比較的狭い 	<ul style="list-style-type: none"> 能楽専用ホール 多目的利用には制限が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 移動観覧席があり、平土間と段床の転換が可能（楽器演奏の練習使いや展示会など多目的な利用が可能） 反射板あり
対応演目	音楽（オペラ・オーケストラ・合唱・吹奏楽・室内楽・電子音楽）	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要	<ul style="list-style-type: none"> 小規模であれば本番利用も可能 防音仕様ではないため、音量などに留意が必要
	演劇	・舞台の広さに留意が必要	<ul style="list-style-type: none"> 舞台の形式が能楽専用のため、演目に制限がある（広さ・利用上の制約など） 照明設備が少ないため、持ち込みが必要になる場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> 舞台の構造や設備の状況により、演目により制限がある（広さ・設備不足など）
	舞蹈（バレエ・ダンス・日本舞踊等）	・舞台の広さに留意が必要	<ul style="list-style-type: none"> 舞台の形式が能楽専用のため、演目に制限がある（広さ・利用上の制約など） 照明設備が少ないため、持ち込みが必要になる場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> 舞台の構造や設備の状況により、演目により制限がある（広さ・設備不足など） 所作台が無いため、日本舞踊を行う場合には持ち込みが必要になる場合がある
	映画	<ul style="list-style-type: none"> スクリーン（映画用）あり 映写機（16mm）あり、プロジェクターなし 	<ul style="list-style-type: none"> スクリーンはあるが、講演会用 映写機なし、プロジェクターあり 	<ul style="list-style-type: none"> スクリーンあり 映写機なし、プロジェクターあり 客席の構造的な制約がある
	伝統芸能（能楽、歌舞伎、邦楽、和太鼓等）	<ul style="list-style-type: none"> 所作台、松羽目、竹羽目、鳥屋囲い、廻り舞台あり 能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある 備品に和太鼓あり 	<ul style="list-style-type: none"> 所作台、松羽目あり 能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> 能楽専用ホールであるため、能楽には適している 歌舞伎他については、舞台の構造や設備に制約がある
	芸能（落語・講談等）	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない
	集会・講演会等	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない
	展示会・展覧会等	・固定席の為、舞台、ホワイエのみの利用となる	<ul style="list-style-type: none"> 固定席の為、舞台、ホワイエのみの利用となる 	<ul style="list-style-type: none"> 固定席の為、舞台のみの利用となるが、舞台の利用には制限がある（舞台の養生が必須など）
				・利用上特に支障はない

施設名称	幸市民館	ラゾーナ川崎プラザソル	川崎シンフォニーホール	総合自治会館
設置年	1980 年	2006 年	2004 年	2020 年
舞台形式	プロセニアム	平土間	オープン (ワインヤード)	平土間 (壁面収納舞台)
客席形式	固定 (ワンスロープ)	可動 (移動段床+スタッキング)	固定 (多層)	スタッキングチェア
客 席 数	840	200	1987	200
親子室	無	無	無	無
身障者用	設置可 (可動席部分)	設置可	10	設置可
特徴のある設備等	・天井／正面反射板はあるが側面反射板がない ・吊物バトン、幕類は比較的揃っている	・移動段床があり、平土間と段床の転換が可能 (楽器演奏の練習使いや展示会など多目的な利用が可能) ・反射板なし ・舞台照明設備が比較的充実	・生音コンサートに特化した音楽専用ホール ・ワインヤード型客席配置	・舞台は壁面収納スライド設置式 ・反射板なし ・バトン、幕類がない ・遮音性能に優れる
対応項目	音楽 (オペラ・オーケストラ・合唱・吹奏楽・室内楽・電子音樂)	・側面反射板がないことに留意が必要	・小規模であれば本番利用も可能 ・防音仕様ではないため、音量などに留意が必要	・小規模であれば本番利用も可能であるが舞台が狭いことに留意が必要 ・ピアノを舞台に乗せることができない
	演劇	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要 ・音楽専用ホールであるため、音楽の演奏に付帯して実施する必要がある ・舞台の構造により、制限がある	・演目次第では対応可能性があるが、舞台の構造的な制約がある (舞台袖がない、幕がない等)
	舞蹈 (バレエ・ダンス・日本舞踊等)	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要 ・バレエシート敷込、所作台持ち込みなどの対応が必要になる場合がある	・舞台の広さに留意が必要 ・バレエシート敷込、所作台持ち込みなどの対応が必要になる場合がある
	映画	・スクリーン (映画用) あり ・映写機 (16 mm) あり、プロジェクターあり	・スクリーンはホリゾント幕と兼用 ・映写機なし、プロジェクターあり	・スクリーンはあるが、講演会用 ・映写機なし、プロジェクターあり
	伝統芸能 (能楽、歌舞伎、邦楽、和太鼓等)	・所作台あり ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある ・備品に和太鼓あり	・所作台無し ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある ・邦楽 (琴、三味線等) 以外は、ホールの構造や設備の状況により制限がある	・所作台無し ・邦楽 (琴、三味線等) 以外は、ホールの構造や設備の状況により制限がある ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある
	芸能 (落語・講談等)	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない ・音楽専用ホールであるため、音楽の演奏に付帯して実施する必要がある ・残響時間が長いことに留意が必要	・利用上特に支障はない
	集会・講演会等	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない ・音楽専用ホールであるため、音楽の演奏に付帯して実施する必要がある ・残響時間が長いことに留意が必要	・利用上特に支障はない
	展示会・展覧会等	・固定席の為、舞台、ホワイエのみの利用となる	・利用上特に支障はない (搬入は共用荷物用エレベータ利用) ・音楽専用ホールであるため、音楽の演奏に付帯して実施する必要がある ・固定席の為、舞台、ホワイエのみの利用となる	・利用上特に支障はない (搬入は共用荷物用エレベータ利用)

施設名称	国際交流センター	中原市民館	総合福祉センター	川崎市コンベンションホール
設置年	1994年	2009年	1990年	2018年
舞台形式	平土間、舞台部昇降（迫り）方式	プロセニアム／平土間	プロセニアム	平土間
客席形式	可動（移動観覧席）	可動（移動観覧席）	固定（多層）	スタッキングチェア
客席数	席数 264	375	923	960
親子室	無	無	無	無
身障者用	設置可	設置可	10	設置可
特徴のある設備等	・同時通訳ブースがある ・移動観覧席があり、平土間と段床の転換が可能 ・バトンは1本、幕類はない	・舞台が一段上がった平土間形式 ・搬入用エレベータが無いため、大掛かりな設営や搬入は困難 ・反射板なし	・吊物設備が比較的揃っている ・反射板あり ・舞台袖が比較的狭い ・舞台が3階の為、搬入は道具通りを利用	・可動間仕切りで大中小の会議室利用が可能
対応演目	音楽（オペラ・オーケストラ・合唱・吹奏楽・室内楽・電子音樂）	・小規模であれば本番利用も可能であるが舞台が狭いことに留意が必要 ・防音仕様ではないため、音量などに留意が必要（特に住宅街に立地のため）	・小規模であれば本番利用も可能である ・防音仕様ではないため、音量などに留意が必要	・オペラ公演等においては、舞台袖の広さに留意が必要 ・小規模であれば本番利用も可能であるが舞台が狭いことに留意が必要 ・ピアノは無い ・音量や振動には留意が必要（マンション内の施設のため）
	演劇	・演目次第では対応可能性があるが、舞台の構造的な制約がある（小規模であること、幕がない等）	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の構造的に制約がある（過去に事例無し） ・音量や振動には留意が必要（マンション内の施設のため）
	舞蹈（バレエ・ダンス・日本舞踊等）	・幕が無いため、演目が制限される可能性がある ・バレエシート敷込、所作台持ち込みなどの対応が必要になる場合がある	・舞台の広さに留意が必要 ・バレエシート敷込などの対応が必要になる場合がある	・舞台の構造的に制約がある（過去に事例無し） ・音量や振動には留意が必要（マンション内の施設のため）
	映画	・スクリーンはあるが、講演会用 ・映写機なし、プロジェクターあり	・スクリーンはあるが、講演会用 ・映写機なし、プロジェクターあり	・スクリーン（映画用）あり ・映写機（16mm）あり、プロジェクターあり ・スクリーンはあるが、講演会用 ・映写機なし、プロジェクターあり ・音量や振動には留意が必要（マンション内の施設のため）
	伝統芸能（能楽、歌舞伎、邦楽、和太鼓等）	・所作台無し ・邦楽（琴、三味線等）以外は、ホールの構造や設備の状況により制限がある ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある	・所作台あり ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある ・邦楽（琴、三味線等）以外は、ホールの構造や設備の状況により制限がある	・所作台、松羽目あり ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある ・備品に和太鼓あり ・舞台の構造的に制約がある（過去に事例無し） ・音量や振動には留意が必要（マンション内の施設のため）
	芸能（落語・講談等）	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない
	集会・講演会等	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない
	展示会・展覧会等	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない（搬入は共用客用エレベータ利用）	・利用上特に支障はない

施設名称	川崎市民プラザ	高津市民館	男女共同参画センター	宮前市民館
設置年	1979年	1997年	1974年	1984年
舞台形式	プロセニアム	平土間 舞台部昇降(迫り)方式	プロセニアム	プロセニアム
客席形式	固定(ワンスロープ)	可動(ラムダシステム+後方固定+前方スタッキング)	固定(ワンスロープ)	固定(多層)
客 席 数	席数 489	600(最大700)	850	910
親子室	無	無	無	有
身障者用	5	設置可	5	6
特徴のある設備等	・舞台後方が開き、広場側からも観覧可能 ・舞台の奥行と袖が比較的狭い ・反射板あり	・客席可変システムであり、平土間と段床の転換が可能 ・舞台上部の高さが低い、袖が比較的狭い ・反射板あり(天井反射板は後方格納)	・バトン本数が比較的少ない ・舞台袖の奥行・幅が比較的狭い ・反射板あり(側面反射板は移動式)	・舞台奥行と袖が比較的広い ・吊物設備が比較的揃っている ・反射板あり
対応演目	音楽(オペラ・オーケストラ・合唱・吹奏楽・室内楽・電子音樂)	・舞台の広さに留意が必要 ・周辺の利用状況により利用上の制約がある場合がある(舞台後方の音が舞台側に漏れるなど)	・構造的に電子楽器等の利用に制約がある(他の会議室の同時利用が必須)	・舞台の広さに留意が必要
	演劇	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要
	舞蹈(バレエ・ダンス・日本舞踊等)	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要
	映画	・スクリーン(映画用)あり ・映写機なし、プロジェクターあり	・スクリーンはあるが、講演会用 ・映写機なし、プロジェクターあり	・スクリーンなし ・映写機なし、プロジェクターなし
	伝統芸能(能楽、歌舞伎、邦楽、和太鼓等)	・所作台、松羽目、竹羽目あり ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある ・備品に和太鼓あり	・所作台あり ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある ・邦楽(琴、三味線等)以外は、ホールの構造や設備の状況により制限がある ・備品に和太鼓あり	・所作台なし ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある ・所作台、松羽目、竹羽目、花道あり ・能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある ・備品に和太鼓あり
	芸能(落語・講談等)	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない
	集会・講演会等	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない
	展示会・展覧会等	・固定席の為、舞台、ホワイエのみの利用となる	・利用上特に支障はない(搬入は共用荷物用エレベータ利用)	・固定席の為、舞台、ホワイエのみの利用となる

施設名称	多摩市民館	麻生市民館	アートセンター
設置年	1996年	1985年	2007年
舞台形式	プロセニアム	プロセニアム	オープン
客席形式	固定(ワンスロープ)	固定(ワンスロープ)	固定(ワンスロープ)
客席数	906	1010	195
親子室	有	有	無
身障者用	10	4	2
特徴のある設備等	<ul style="list-style-type: none"> 吊物設備が比較的揃っている 反射板あり 舞台奥行は比較的広い 舞台袖が比較的狭い 	<ul style="list-style-type: none"> 吊物設備が比較的揃っている 反射板あり 舞台袖が比較的狭い 	<ul style="list-style-type: none"> ブラックボックス型の演劇ホール 反射板なし 工房があり大道具の制作が可能
対応演目	音楽(オペラ・オーケストラ・合唱・吹奏楽・室内楽・電子音楽)	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要 ・反射板がないため、残響が短い可能性がある。
	演劇	・舞台の広さに留意が必要	・工房あり ・舞台の広さに留意が必要
	舞蹈(バレエ・ダンス・日本舞踊等)	・舞台の広さに留意が必要	・舞台の広さに留意が必要
	映画	<ul style="list-style-type: none"> スクリーン(映画用)あり 映写機なし、プロジェクターあり 	<ul style="list-style-type: none"> スクリーン(映画用)あり 映写機あり(16mm)、プロジェクターあり
	伝統芸能(能楽、歌舞伎、邦楽、和太鼓等)	<ul style="list-style-type: none"> 所作台、松羽目、竹羽目あり 能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある 備品に和太鼓あり 	<ul style="list-style-type: none"> 所作台、松羽目、竹羽目、鳥屋囲いあり 能楽を行う場合には、能舞台の設営が必要になる場合がある
	芸能(落語・講談等)	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない
	集会・講演会等	・利用上特に支障はない	・利用上特に支障はない
	展示会・展覧会等	・固定席の為、舞台、ホワイエのみの利用となる	・固定席の為、舞台・客席平土間部のみの利用となる